



イーレックス株式会社 [9517]

2016年11月21日開催

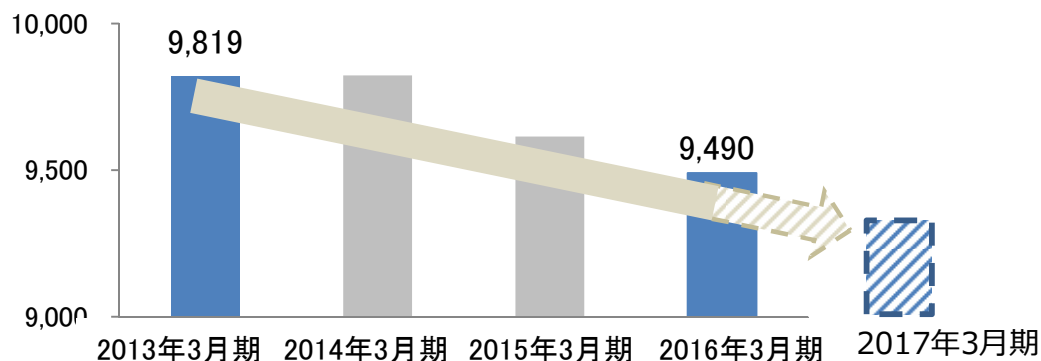
第2四半期 決算説明会資料

～「未来を切り拓く『共創』エネルギー企業」を目指して～

I	上期概況	・ ・ ・ 2
II	事業部門におけるトピックス	・ ・ ・ 11
III	第2四半期(上期)決算概要	・ ・ ・ 20
IV	参考資料	・ ・ ・ 25

I . 上期概況

①全国的な電力需要の低下トレンド



震災後の2012年度から2015年度までで、国内電力需要329億kWh(▲3.3%)減小。今後も減少傾向は続くとみられる

①'
需要の低迷

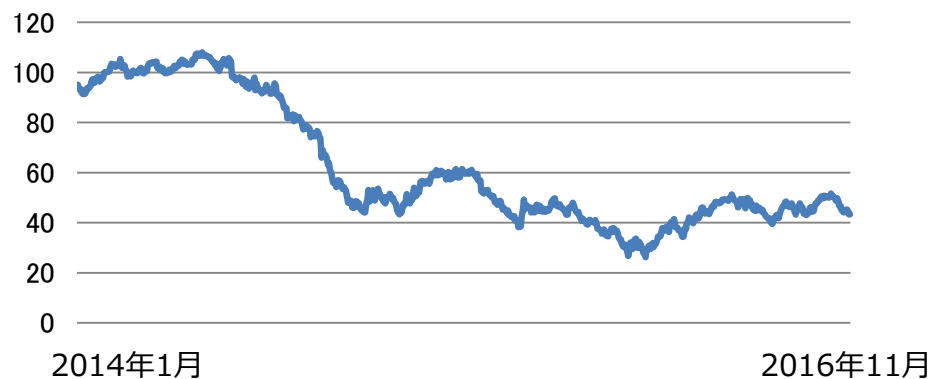
+

競争の激化
(363社) ※

※登録小売電気事業者数、11月10日現在

②一次エネルギーの価格低迷

WTI価格 USD/バレル



②'

- ・ 販売価格の押し下げ
- ・ 電力卸取引所価格の低下

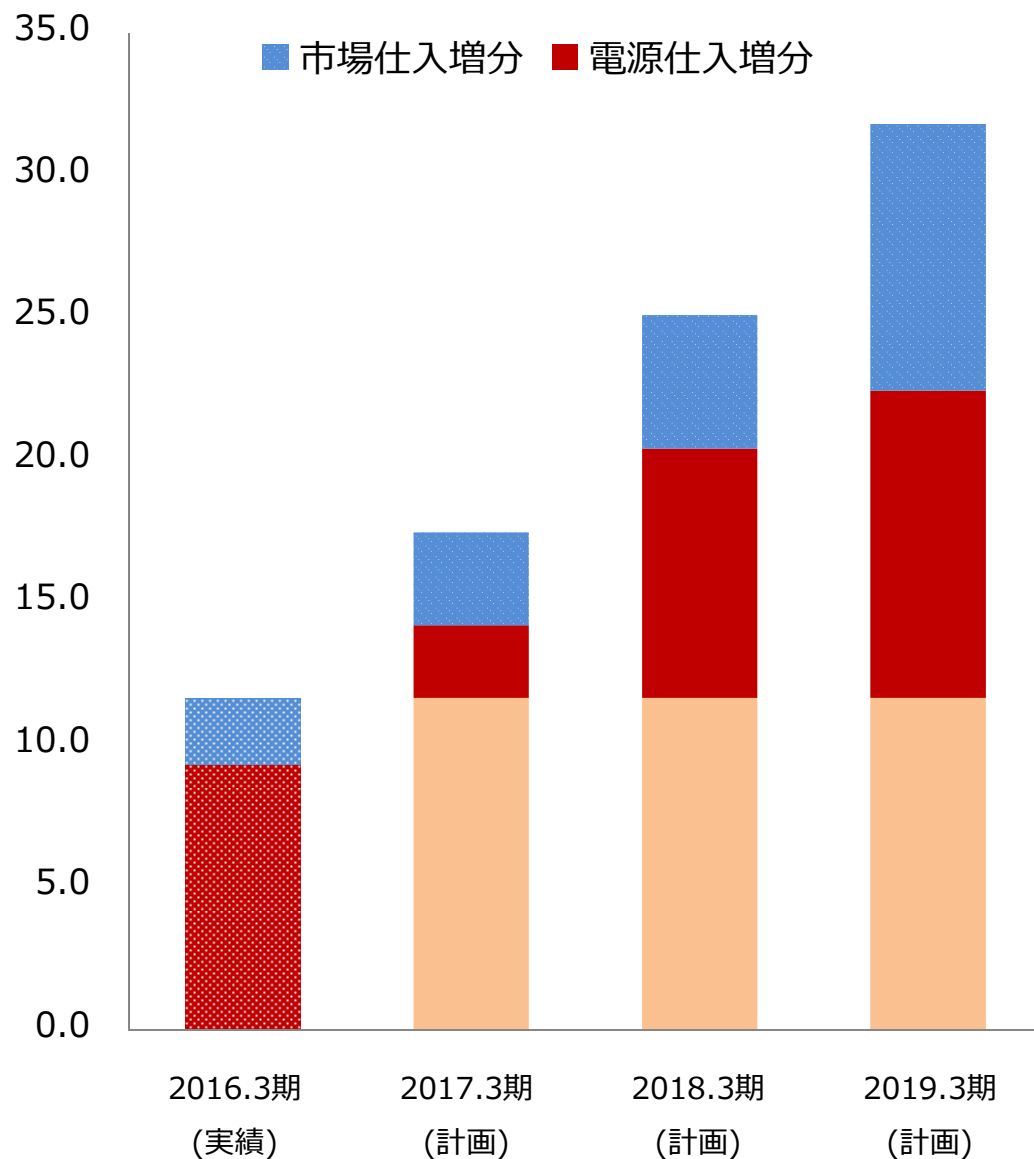
「Dash 1000」

(単位：百万円、下段は売上比)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期			2018年3月期		2019年3月期	
		(上期実績)	(通期計画)	前年比	(通期計画)	前年比	(通期計画)	前年比
売上高	22,877 (100.0%)	13,965 (100.0%)	33,466 (100.0%)	+46.2%	51,280 (100.0%)	+53.2%	67,339 (100.0%)	+31.3%
営業利益	1,723 (7.5%)	1,461 (10.5%)	2,664 (8.0%)	+54.6%	5,311 (10.4%)	+99.4%	7,354 (10.9%)	+38.5%
経常利益	1,614 (7.1%)	1,417 (10.1%)	2,451 (7.3%)	+51.9%	5,076 (9.9%)	+107.1%	7,085 (10.5%)	+39.6%
当期純利益	1,112 (4.9%)	1,012 (7.2%)	1,426 (4.3%)	+28.2%	3,336 (6.5%)	+133.9%	4,754 (7.1%)	+42.5%

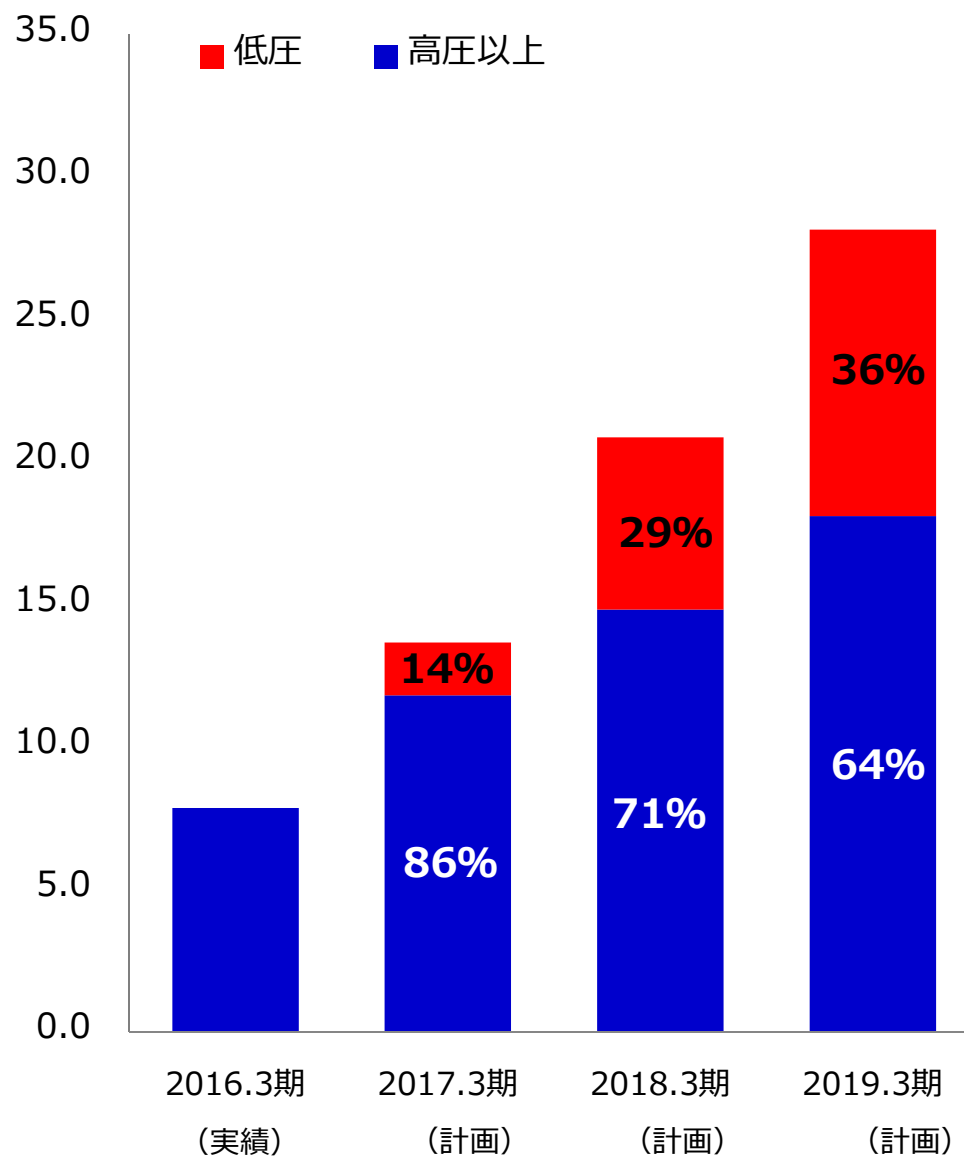
電源種類別仕入量

単位：億kWh/年



小売販売電力量

単位：億kWh/年



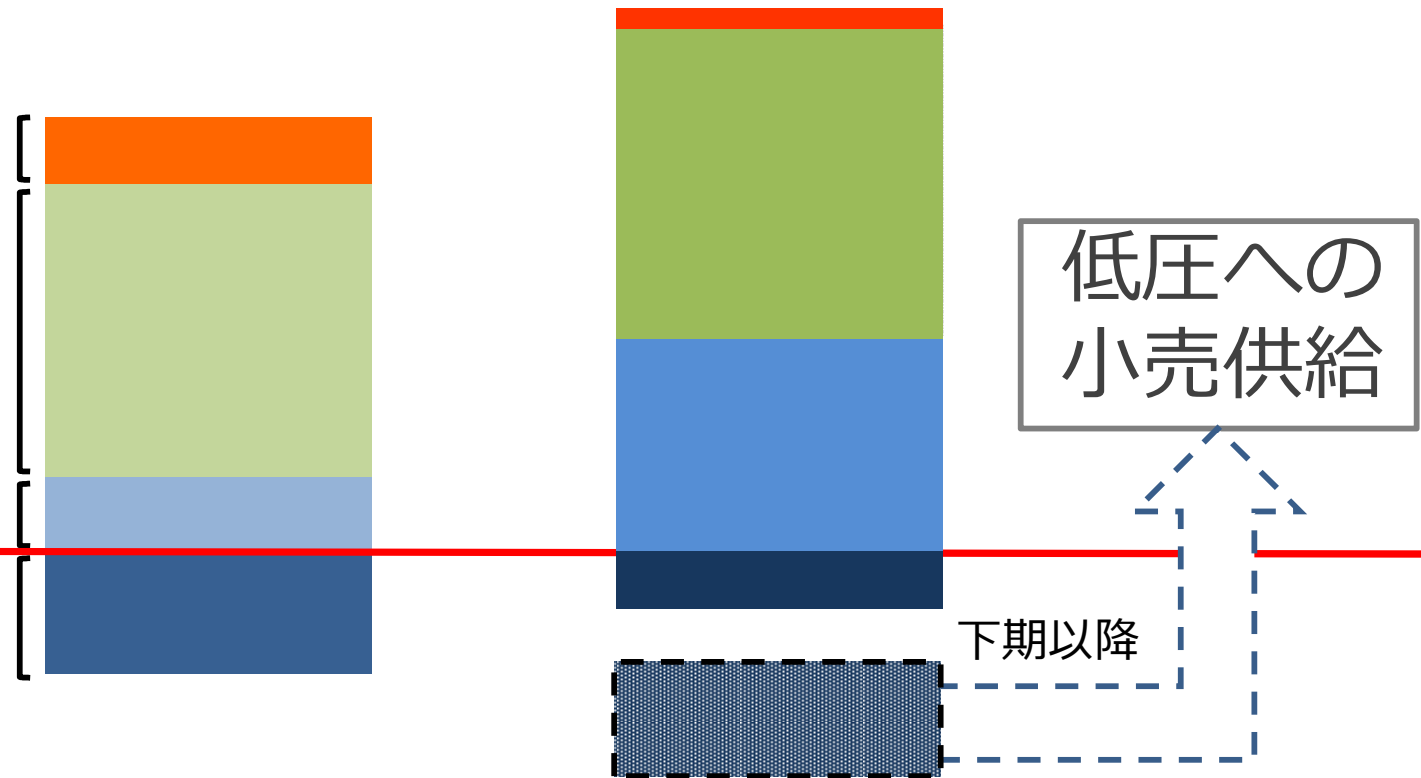
2016年3月期（上期）

2017年3月期（上期）

小売供給

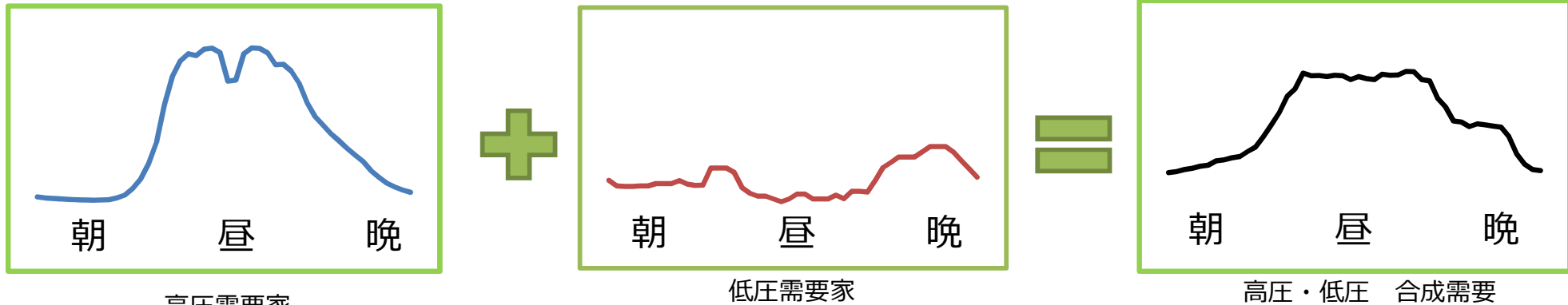
電力会社からの購入
自社電源及び契約電源からの購入
卸電力取引所からの購入
卸電力取引所への販売

卸供給
(卸電力取引所)

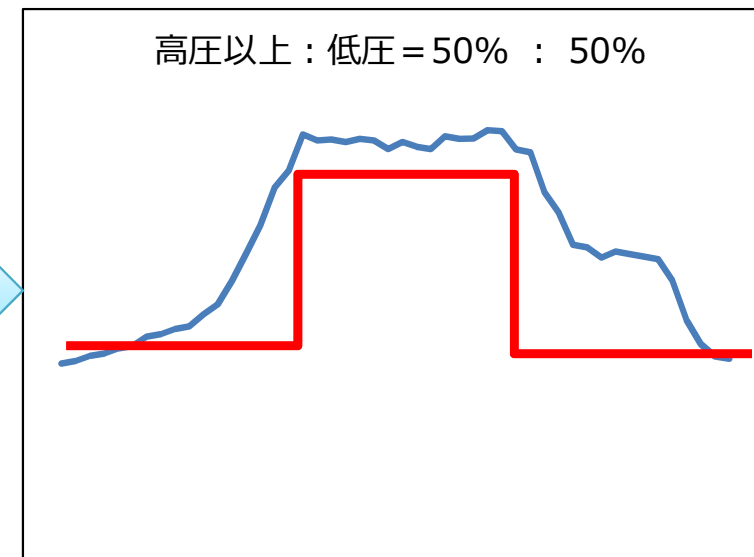
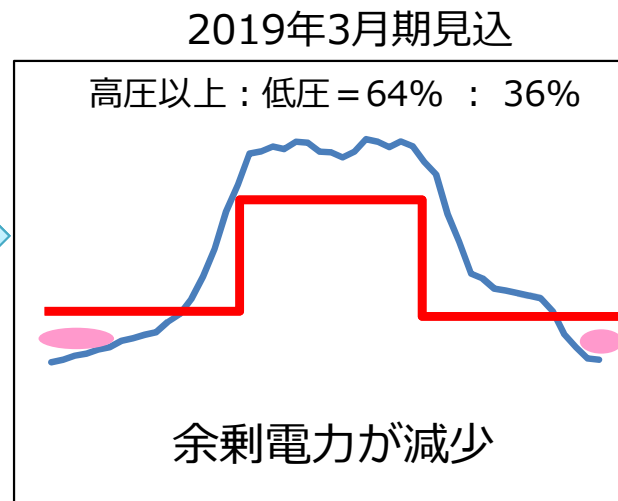
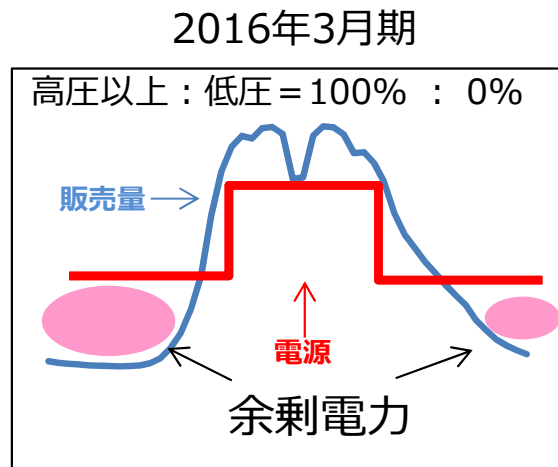


低圧への小売供給

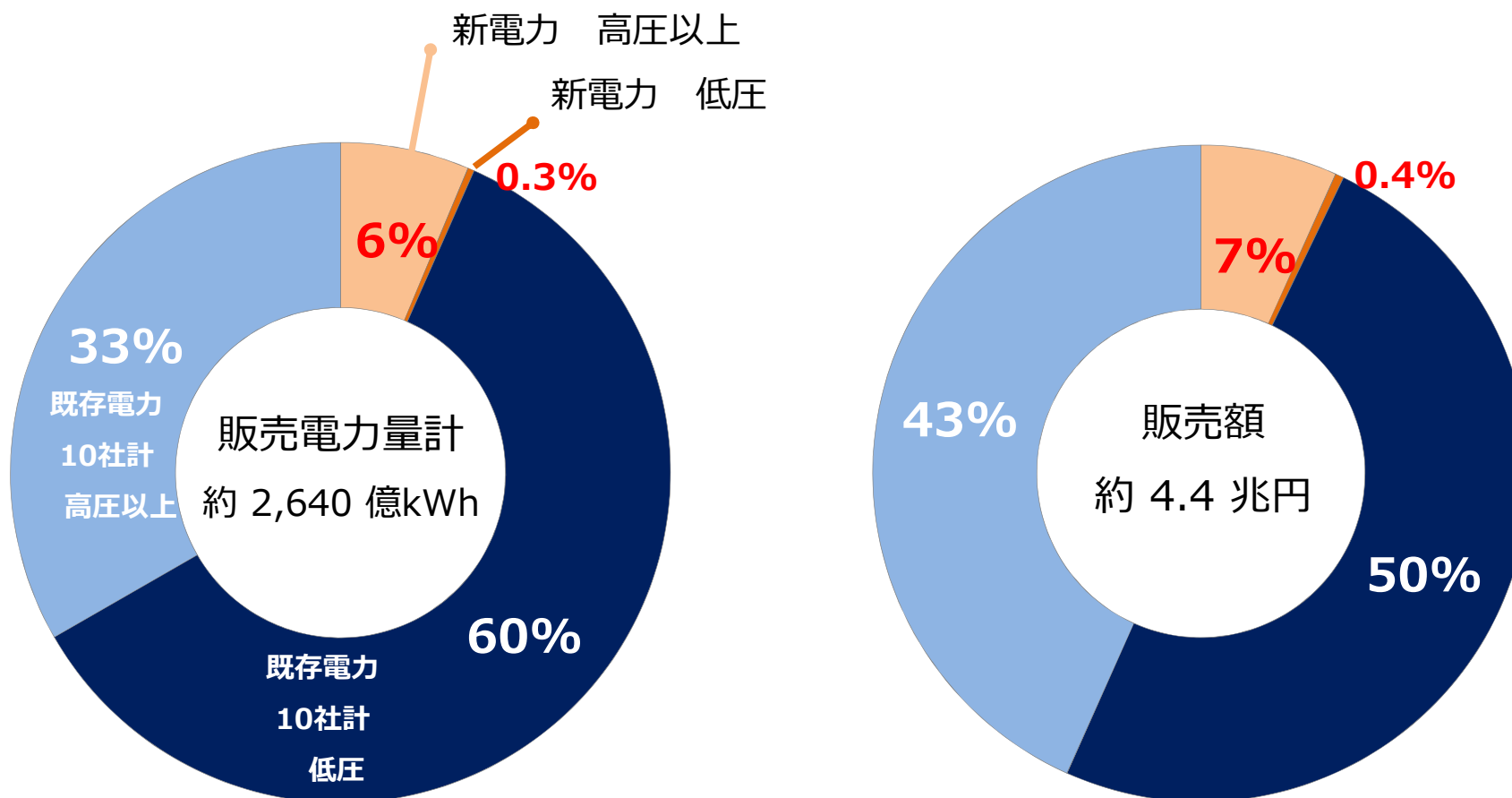
下期以降



2020年3月期以降



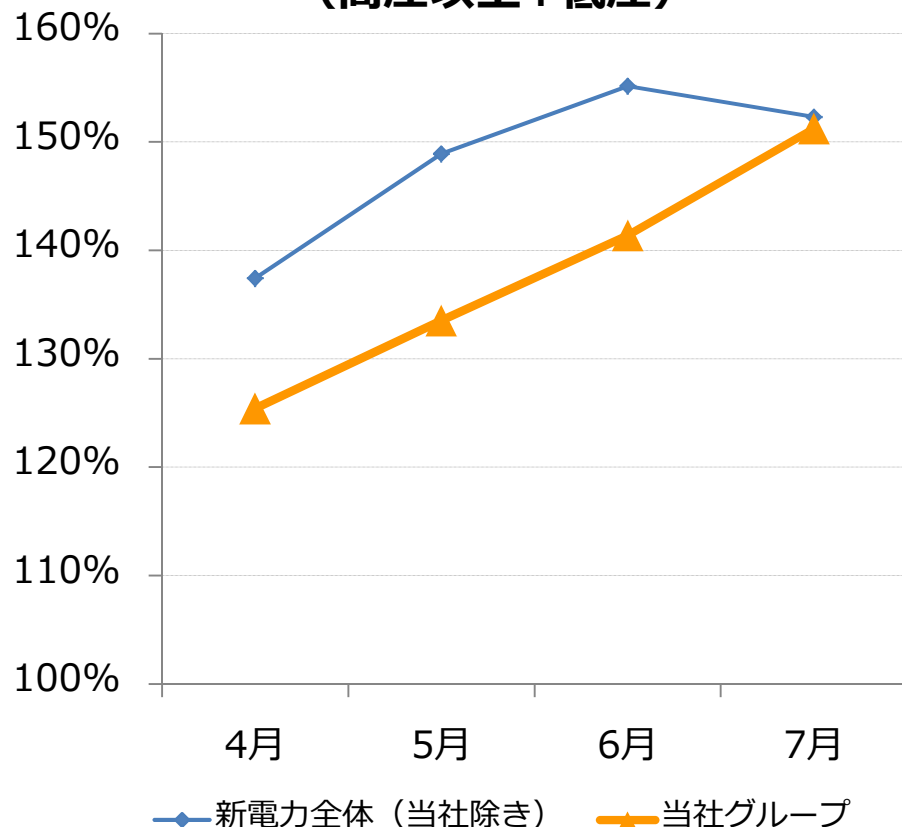
“余剰電力の収益化”と“供給力の最適化”を実現



- 新電力が開拓したシェアは販売電力量比で約6%、販売額比で約7%
- 販売電力量/販売額のいずれにおいても、**未開拓の大きな市場**が存在
- 2016年3月期の既存電力10社の小売売上高合計は約16兆円
- 当社『Dash 1000』で目標とする**売上高1,000億円は電力小売市場全体の0.6%に相当**

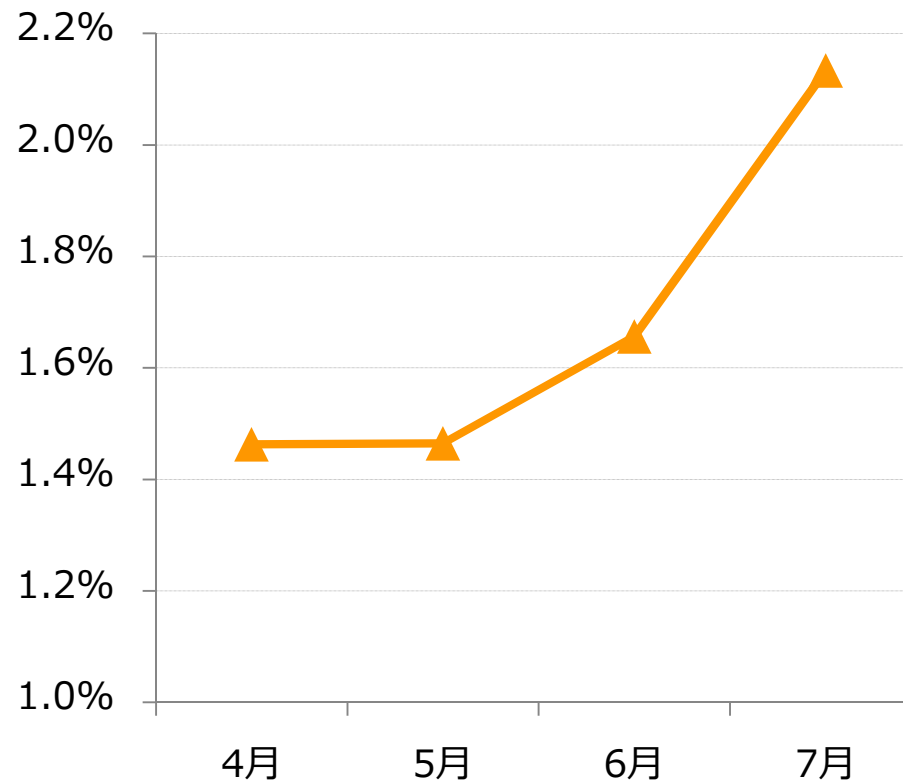
販売電力量伸長率：前年同期比

(高圧以上+低圧)



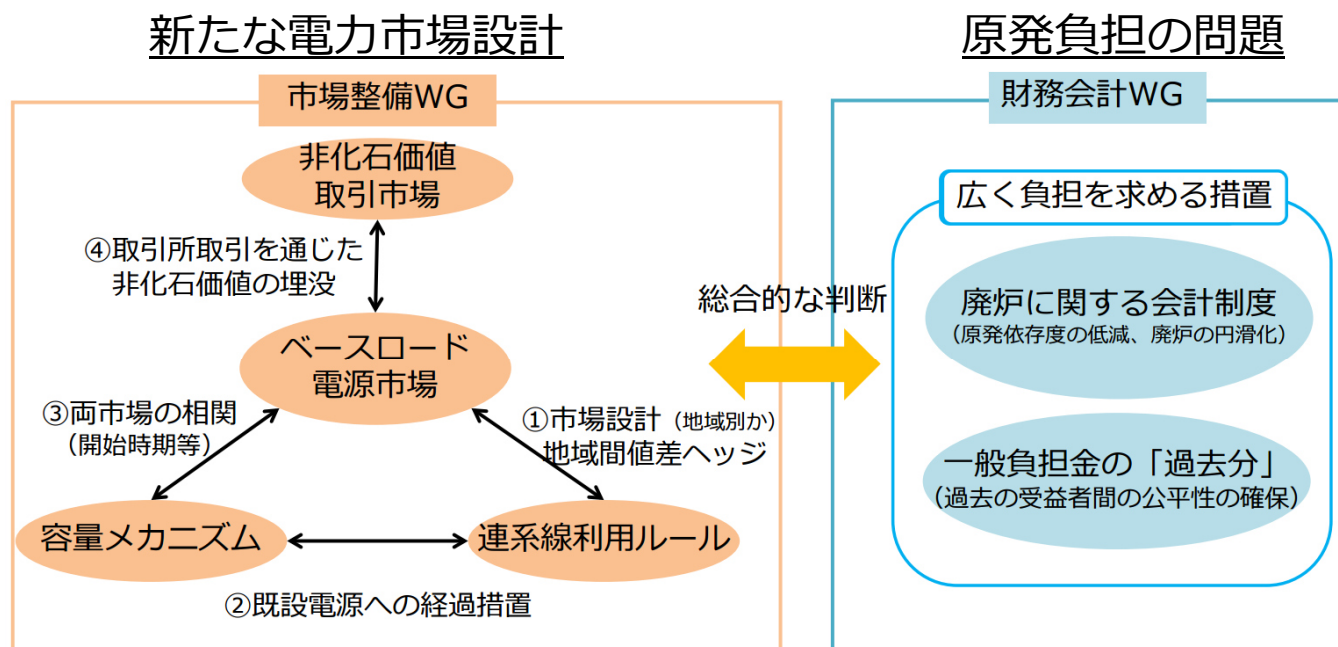
新電力全体に占める当社グループのシェア

(高圧以上+低圧)



- 小売市場全体は前年同期比で微増に留まるが、**当社グループおよび新電力全体では150%を超える伸長率**
- 7月より**当社グループを除く新電力全体の伸長率が鈍化した**が、**当社グループは堅調**に推移
- この結果、新電力全体に占める**当社グループのシェアは大幅に向上**

- 「電力システム改革貫徹のための政策小委員会」にて今後の電力システム改革の方向性について論議中
- 当社イーレックスが同小委員会に参加。事業者の立場から提言を実施



※2016年11月11日「第2回電力システム改革貫徹のための政策小委員会」『資料⑤』より引用

新制度	議論の内容	当社への影響
ベースロード電源市場	安価なベースロード電源（原子力・水力・石炭）の専門市場の開設	・安価な電力を獲得でき、需要獲得機会が増大
非化石価値取引市場	電力の非化石価値（再エネ価値・ゼロエミッションなど）を取引する新市場を開設（証書取引）	・排出係数削減手段へのアクセス獲得 ・再エネの国民負担軽減への対応
容量メカニズム	市場全体における電力安定供給の担保	(将来の需要動向・発電事業者の競争が課題)
連系線利用ルール	供給エリア間の連系送電線の利用ルールを先着優先⇒オークション方式に変更	・電力販売機会の拡大
廃炉会計・一般負担金	原発の廃炉や賠償費用の一部を新電力にも負担	(数字が見えていないため、判断できず)

Ⅱ. 事業部門におけるトピックス



全国1,300件以上の
代理店様



全国46社のLPG会社様
とのコラボ



沖縄ガスとの合併会社によ
る沖縄における電力販売



健康に目を向けた電力



Powered by eREX Spark Marketing

通信会社とのコラボ



全国の歯科医院向け電力

平成28年11月18日時点 供給施設数

高圧： 約9,800施設 、 低圧： 約31,000施設

【高圧】

- ① 営業力強化
 - 既存代理店の営業効率向上にむけた支援の強化
- ② 新規チャネルの拡充
 - 変化に対応した新たな代理店モデル確立
- ③ 顧客の創出
 - 需要家ターゲットの再設定
 - 新たな地域への進出準備 (北海道・四国)

【低圧】

- ① 営業力強化
 - 既存販売チャネル、新規プロジェクト等による販売促進
「タニタ× erex あるく・おトク・でんき」等
 - 新規アライアンスパートナー拡大 (ケーブルTV会社など)
 - 特定地域での販売キャンペーン実施 (第一弾：佐伯発電所完成に伴う佐伯市向)
- ② マーケティング強化
 - ブランド認知度向上、広報活動
- ③ 供給地域の拡充
 - 未開拓地域での販売促進 (東北・中国)
 - 新たな地域への進出準備 (2017年度)

2016年11月9日 (1109→イー・レックス)

☆ ブランドコンセプト
未来をデザイン with erex

イーレックスは、発電から販売までを一貫して行う、新電力のパイオニアです。
1000社を超えるパートナー企業と共創しながら、
新しい電気の仕組みを創り続けてきました。

わたしたちには、創業以来続く「挑む文化」があります。

国内初となる、ヤシ殻を主燃料とした環境にやさしいバイオマス発電や、
米国の電力小売先進企業との合併会社設立を、業界に先駆けて実現しました。
さらに、需要・供給と価格の最適化を実現するトレーディング事業など、
これからも、皆さまの安心と信頼をベースに、革新的なサービスを生み出します。

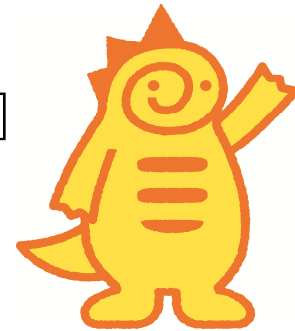
未来を生きるすべての人のために、
これまでにない新しい電気を仲間と共に創る。

未来をデザイン with erex

☆ ロゴ



☆ キャラクター
『レックスくん』



☆ ウェブページ



2014年3月期

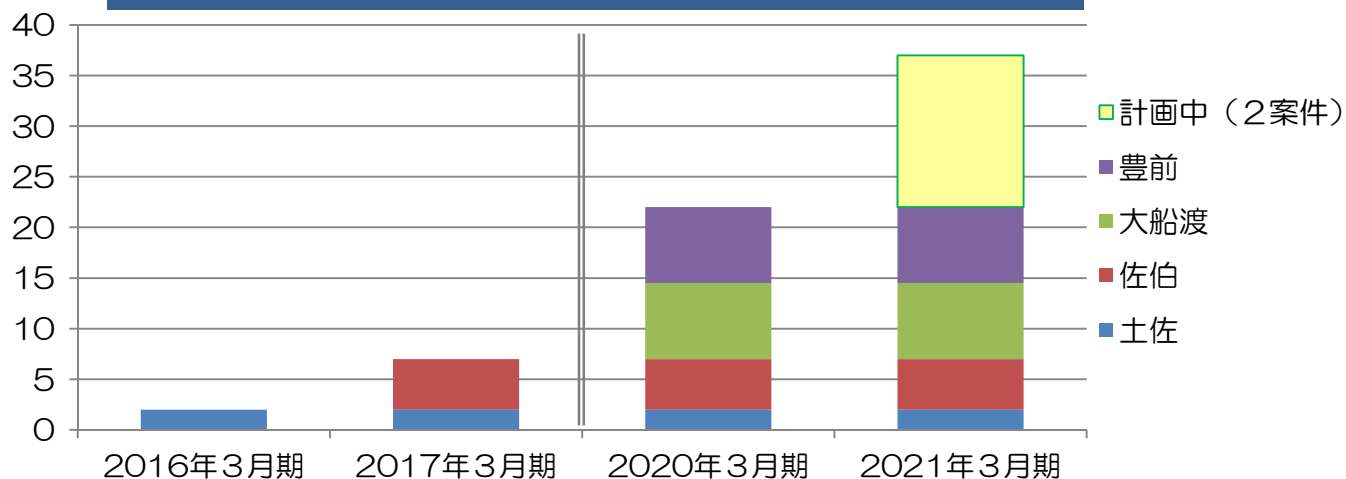
2017年3月期

2020年3月期～

	土佐	佐伯	7月29日開示済 大船渡	9月29日開示済 豊前	計画中	
					沖縄	A地点
発電出力[MW]	20	50	75	75	50~75	50~75
発電効率	31%	36%	39%	39%	未定	未定
燃料	PKS	PKS	バイオマス	バイオマス	バイオマス	バイオマス
投資額 [億円]	35	167	235	250	未定	未定
当社出資比率	100% (全量eREXへ販売)	70% (全量eREXへ販売)	35% (全量eREXへ販売)	65%	未定	未定
当社出資額[億円]	0.1 (済)	34.3 (済)	14.0	45.0	未定	未定
ファイナンス方法	コーポレート ローン	コーポレート ローン	コーポレート ローン	プロジェクト・ ファイナンス	未定	未定

(万kW)

イーレックスグループのバイオマス発電計画の展望



【佐伯発電所の概要】

名称	イーレックスニューエナジー佐伯株式会社 佐伯発電所
所在地	大分県 佐伯市
設立	平成26年7月（当社出資比率：70%）
発電出力	50MW（年間売電量 約315,000MWh）
燃料	P K S（パームヤシ殻）、石炭
総事業費	約167億円
商業運転開始	平成28年11月18日



【合併会社の概要】

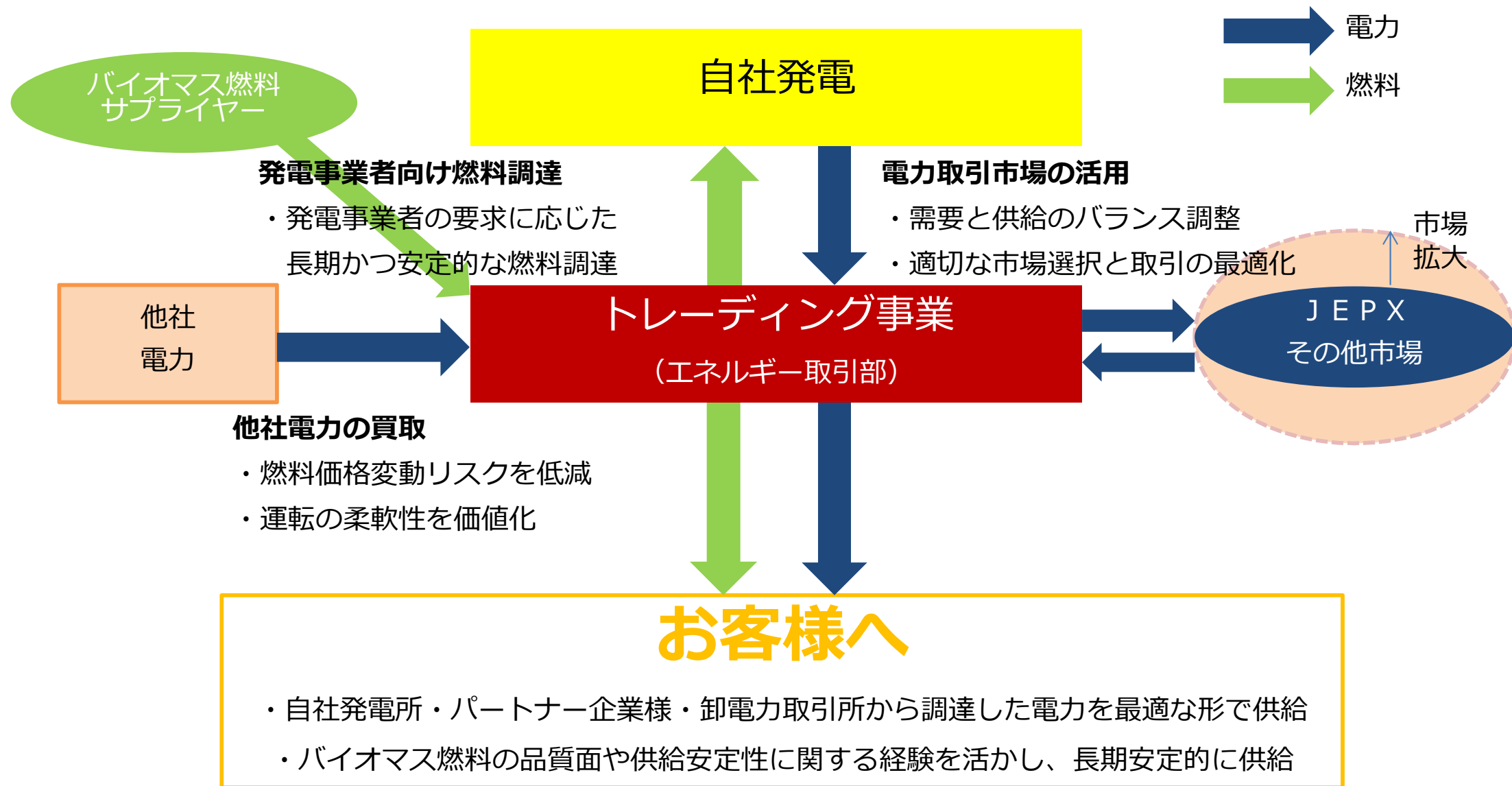
名称	大船渡発電株式会社
本店所在地	岩手県 大船渡市（太平洋セメント大船渡工場内）
設立	平成28年8月（太平洋セメント：65%、当社：35%）
発電出力	75MW（年間売電量 約480,000MWh）
燃料	P K S、E F B、石炭
総事業費	235 億円
商業運転開始予定	平成31年秋



【豊前発電所の概要】

名称	豊前ニューエナジー合同会社 豊前バイオマス発電所
所在地	福岡県 豊前市
設立	平成28年10月（当社出資比率 65%：今後段階的増資を実施）
発電出力	75MW（年間売電量 約500,000MWh）
燃料	P K S（パームヤシ殻）、木質ペレット
総事業費	約250億円
着工予定	平成29年3月
商業運転開始予定	平成31年秋





Ⅲ. 第 2 四半期(上期)決算概要

2017年3月期第2四半期 総括

売上高 **13,965 百万円** (前期比 24.9%増)

営業利益 **1,461百万円** (前期比 207.9%増)

- **高圧分野**は継続して**伸長**(約8,600施設 [第1四半期末] →約9,400施設)
- 4月から始まった**低圧分野も伸長**(約11,300施設 [第1四半期末] →約25,000施設)
- **佐伯発電所**の建設工事、土佐発電所の操業は共に**計画通り進捗**
- **卸電力市場(外部環境)の価格変動に迅速に対応 (利益率向上)**
- ◆ **営業利益ベースの通期計画比進捗率は54.8%**となる(前年同期は進捗率32.4%)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2016年3月期 第2四半期 (前年同期)	2017年3月期 第2四半期 (当期実績)		
		実績	増減率	備考
			通期進捗率	
売上高	11,177 (100.0%)	13,965 (100.0%)	+24.9% 41.7%	・ 高圧分野/低圧分野共に伸長し、単価が低い卸売数量の削減が奏功
営業利益	474 (4.2%)	1,461 (10.5%)	+207.9% 54.8%	・ 仕入構成比を見直し卸電力取引所からの仕入数量を増やし、売上原価を大幅に低減
経常利益	430 (3.9%)	1,417 (10.1%)	+228.9% 57.8%	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	303 (2.7%)	1,012 (7.2%)	+233.7% 71.0%	・ 営業利益の大幅な増加を主要因として前年同期比400%近い成長となる

(単位：百万円、下段は構成比)

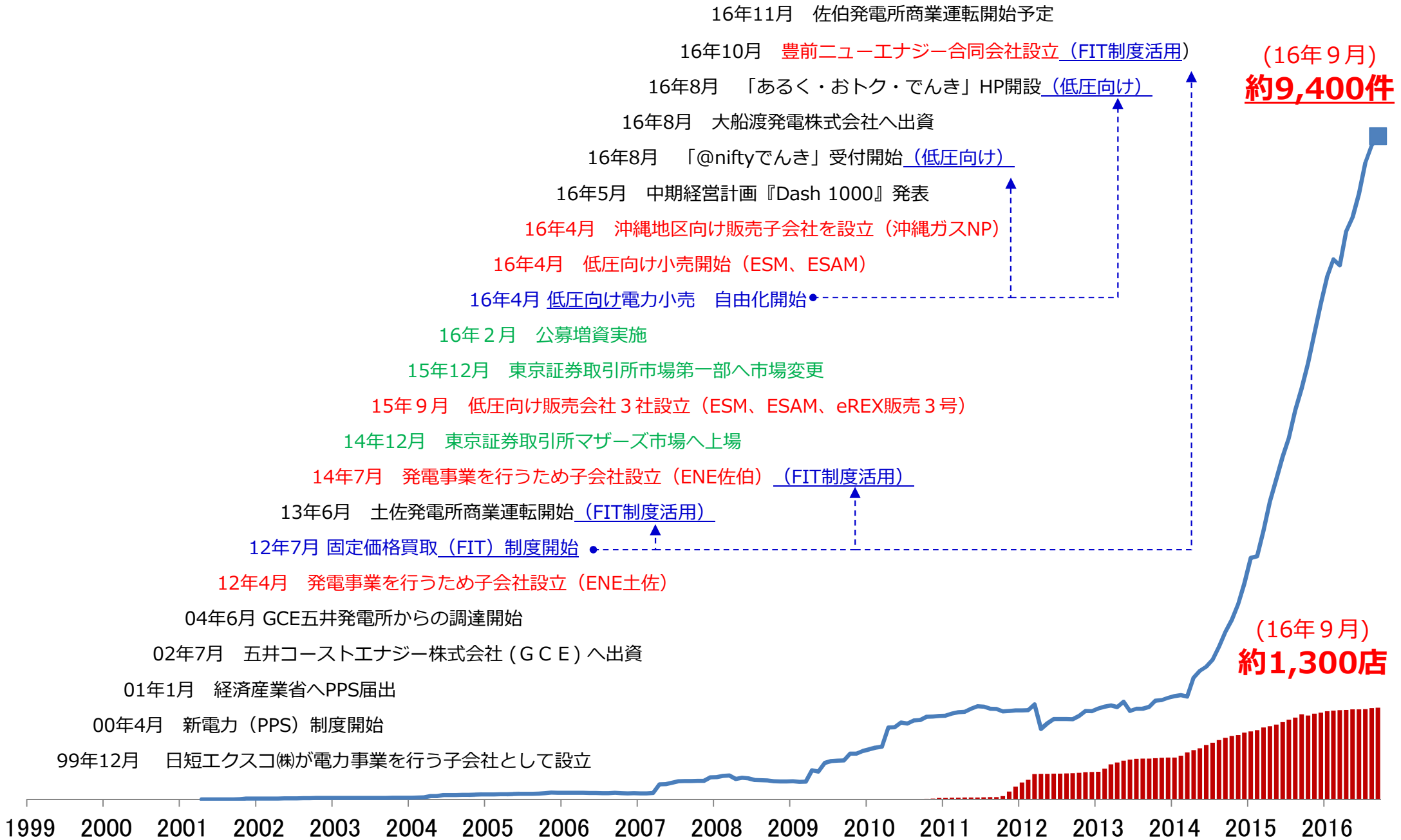
		2016年 3月期末	2017年3月期 第2四半期末		
			実績	増減額	主な増減要因
資産	流動資産	13,406 (49.3%)	11,903 (35.2%)	▲1,502	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンジケートローンの返済により現金及び預金が▲3,000 ・ 売上高の増加に伴う売掛金増加+1,281、再エネ電源からの仕入増加による未収入金+406、その他▲189
	固定資産	13,759 (50.6%)	21,910 (64.7%)	+8,151	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐伯発電所及び佐伯バイオマスセンターの建設工事費として+6,632、大船渡発電株式会社への出資+1,396 ・ その他+123
	繰延資産	36 (0.1%)	34 (0.1%)	▲2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子会社設立、増資に伴う株式交付費の償却の進展
資産合計		27,202 (100.0%)	33,848 (100.0%)	+6,645	—
負債	流動負債	3,096 (11.3%)	6,603 (19.5%)	+3,506	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期借入金+1,800、1年以内返済予定長期借入金+343、 ・ 買掛金+794、未払法人税等+181、その他+387
	固定負債	9,373 (34.5%)	11,448 (33.8%)	+2,075	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期借入金+2,009、役員退職慰労引当金▲385 ・ その他+451
	負債合計	12,469 (45.8%)	18,051 (53.3%)	+5,582	—
純資産合計		14,732 (54.2%)	15,796 (46.7%)	+1,063	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストックオプションの権利行使等により資本金及び資本剰余金が計+271 ・ 利益剰余金が+605、BIP信託導入による自己株式▲226 ・ 非支配株主持分+413
負債・純資産合計		27,202 (100.0%)	33,848 (100.0%)	+6,645	—

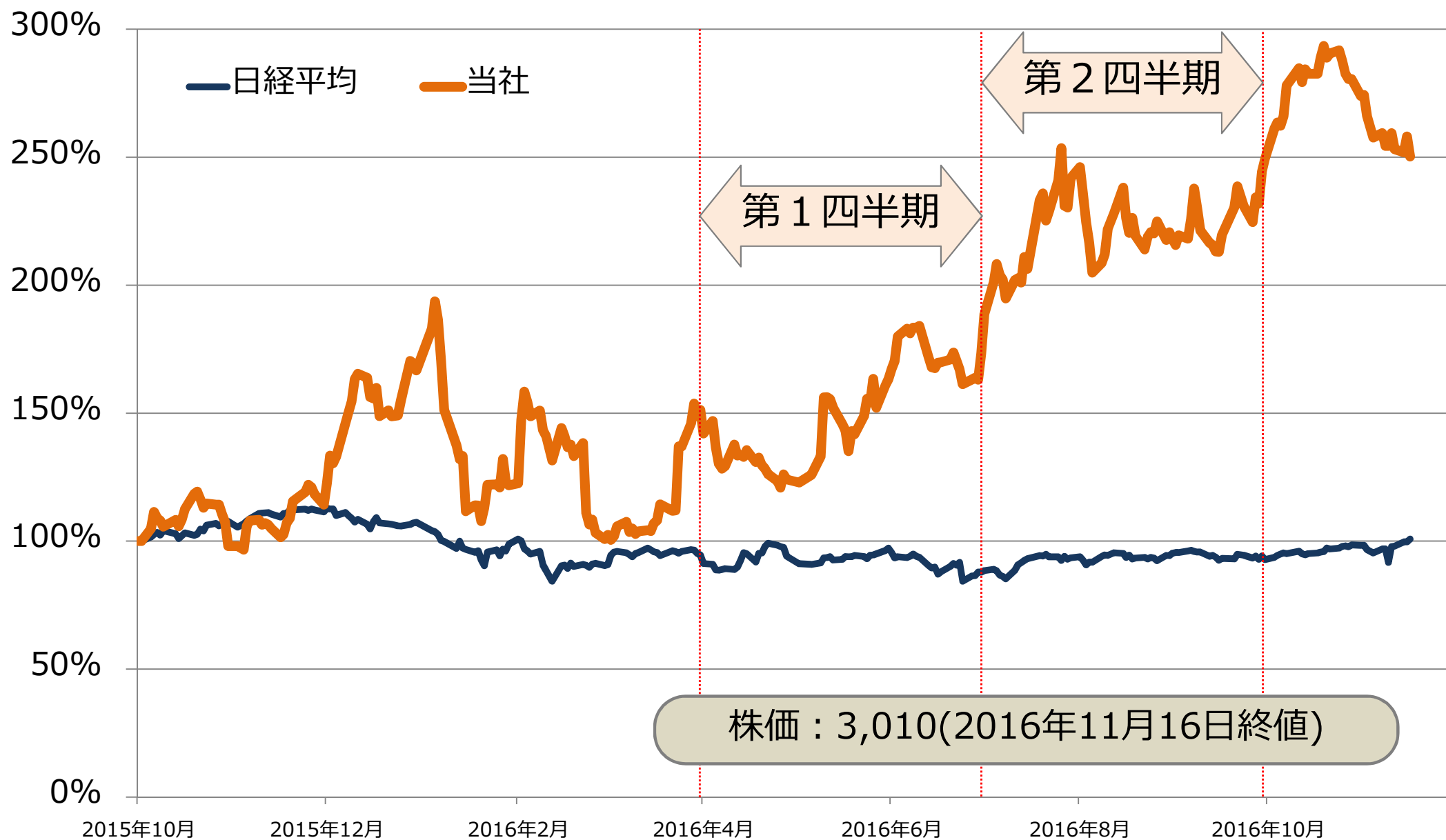
(単位：百万円)

	2016年3月期 第2四半期累計期間	2017年3月期 第2四半期累計期間
営業キャッシュフロー	▲179	596
投資キャッシュフロー	▲4,568	▲7,168
フリー・キャッシュフロー	▲4,747	▲6,572
財務活動によるキャッシュフロー	4,452	4,306
現金及び現金同等物 期首残高	4,267	8,405
現金及び現金同等物 四半期末残高	3,971	6,140
現金及び現金同等物 増減額	▲295	▲2,265

VI. 參考資料

本社	東京都中央区日本橋本石町三丁目3番14号
事業内容	電気事業(発電・電力小売・電力卸売)
代表者	代表取締役会長 渡邊 博、代表取締役社長 本名 均
設立	1999年12月
資本金	5,079百万円 (2016年9月30日現在)
連結子会社 (計7社)	<p>販売子会社 (計4社)</p> <p>イーレックス・スパーク・マーケティング株式会社 イーレックス・スパーク・エリアマーケティング株式会社 株式会社沖縄ガスニューパワー イーレックス販売3号株式会社</p> <p>発電子会社等 (計3社)</p> <p>イーレックスニューエナジー株式会社 イーレックスニューエナジー佐伯株式会社 佐伯バイオマスセンター株式会社</p>
従業員数	連結：86名 / 単体：53名 (2015年9月30日現在)





※ 平成27年10月1日終値 (当社：1,203円、日経平均：17,722.42円) を100%として